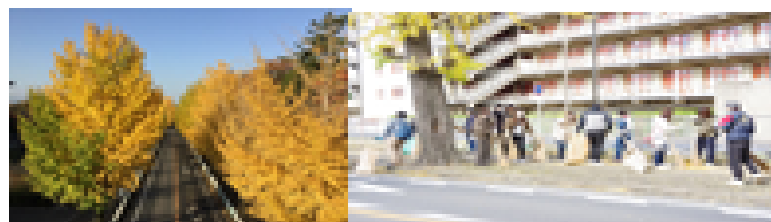


団体名	天理市環境連絡協議会
所在地	奈良県天理市川原城町605天理市役所 環境政策課内
団体の目的	天理市環境基本計画を基に市民・市民団体・事業者・行政と協働して、天理の環境をより良い状態で次世代に引き継ぐこと目的とする。
活動地域	奈良県天理市
地域循環共生圏を活用して目指す地域の姿	地域と共生する再エネの導入拡大によるゼロカーボンシティ実現、新電力ビジネスによる地域経済向上を目指す。また、地域の自然を生かした商品開発とイチョウ、ホテル等の環境をアピールしたエコツーリズムビジネス創出、さらに宿泊型体験教育プランを実現し、全国の学生やインバウンド観光客を誘致する。
地域の現状・課題	人口が年々減少、農家の高齢化、耕作放棄地が増加している。さらに商店、事業所が減少、それに伴う就業人口が減少している。また、大学、高校を卒業した若年層の転出が多い。
地域が持つ資源	大学、宗教文化が立地した教育環境に恵まれた地域で、歴史的史跡が豊富である。さらに、ホテルが棲息する川や7kmにわたるイチョウ並木の街路樹があり、里山や農地が豊富にある。また、天理市は環境意識が高く、今年3月ゼロカーボンシティを宣言した。
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> ① 水と緑のネットワーク：街路樹健康度調査と保全提言、ホテルをシンボルとした河川調査、保全活動と里山保全と利用活動を行う。また、環境教育の推進、エコツーリズムビジネスの創出を模索する。 ② 地域共生再生可能エネルギー：レジリエンス再エネ、営農型ソーラー、里山再エネ等、地域と共生でき再エネの導入可能性調査とモデル事業の選定を行う。併せて、地域再エネ事業構想を立案する。 ③ まちづくりプロジェクト：商店街の空き店舗に若者のアイデアを生かし活用する。また、天理の歴史・文化自然の学び、農業体験を行う宿泊型教育や地元名物のイチョウ葉や、お茶の実の商品化をめざす
地域循環共生圏を 実践することで想定 される効果	<p>(環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天理市内に再エネ導入を拡大することにより、地球環境に貢献 ・ 街路樹、ホテル舞う水辺環境、里地、里山の保全 <p>(経済)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域再エネで発電した電力をふるさと納税返礼品に利用することで地域外からの収入が増加、地域経済向上に貢献 <p>(社会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学生が主体的に参加することによって新しいアイデアや未来を担う人材を育てることができる。

天理市環境連絡協議会の概要

- ・設立:天理市環境基本計画のもと、地域連携と協働の場として2015年2月に設立
- ・構成:市民、市民団体、事業者、学識経験者、天理市
- ・活動:天理の環境をより良い状態で次世代に引き継ぐこと目的に5つ部会で活動
 - <緑の保全部会>
 - <ストップ温暖化部会>
 - <まちづくり・観光部会>
 - <ごみ減量部会>
 - <環境教育部会>



落ち葉かき(肥料に活用)



布留川清掃(ホタルが棲息)



環境フォーラム



天理ダム視察(小水力発電)



子ども工作教室(ソーラーランタン)²

天理市環境連絡協議会

平成 26 年 4 月、「天理市環境基本計画」が策定されました。この計画には、天理市の素晴らしい環境を次世代に引き継ぐために必要な、市民や市民団体、事業者の皆さんと行政（市）がともに推進していく取組やその進め方などが示されています。



この「天理市環境基本計画」に示された取組を積極的に進めていくための中心となる協働組織として、「天理市環境連絡協議会」が設立されました。

◆5つの部会に分かれて活動しています

「天理市環境連絡協議会」には、5つの部会があります。それぞれのテーマに基づいて、わがまち天理の環境をより良い状態で次世代に引き継ぐために、話し合い、活動を続けています。

緑の保全部会

グリーンカーテンの普及、水源の森づくりを中心に活動していきます。

ストップ

温暖化部会

地球温暖化防止に向けて、省エネの取組みを推進します。

まちづくり・ 観光部会

里山体験、山の辺の道、花炭作りをキーワードに活動していきます。

ごみ減量化部会

3Rの推進を中心にマイバッグ運動の啓発に取り組んでいきます。

環境教育部会

観察会や教室などの開催を通して、環境についての学びを広げていきます。